


## 2022（令和4）年度 研究サマリー

研究会名称	日本女性腎臓病医の会	
代表者所属	京都華頂大学	
代表者氏名	武曾惠理	
研究事業	<p>女性腎臓医の活力を社会貢献事業、およびキャリア支援事業を通じて押し上げることで、豊かな腎臓病医療の実現に貢献出来ることを検証する。</p>	
研究実績	<p>コロナ感染症の中、今年度は順延となっていた総会を Web で開催して、次年度の 20 周年の準備となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 19 回総会の Web による開催</li> <li>・ 学術奨励賞、奨励報告賞の継続。</li> <li>・ 地域研究会の充実（全地域での地方回が最低年 1 回開催され、Web で他地域からの参加増加）</li> <li>・ 年 2 回世話人会の開催による世話人間の交流の深化、</li> <li>・ 代表世話人 II 期目決定によるさらなる活動活性化</li> </ul> <p>1) 総会、地方会の開催</p> <p>1. 総会開催</p> <p>第 19 回 JSWN 総会</p> <p>当番世話人：宮崎 真理子（東北大学腎・膠原病・内分泌内科）・島田美智子（弘前大学地域医療学）・杉本 理絵（仙台赤十字腎臓内科）</p> <p>日 時：2022 年 7 月 1 日（金）18:30-20:30    オンライン開催（世話人、代表世話人現地）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域活動報告</li> <li>・ 2020 年度 JSWN 研究活動奨励賞 受賞者経過報告</li> <li>・ 2021 年度 JSWN 奨励報告賞 授賞式・研究活動奨励賞受賞者講演</li> <li>・ 特別講演：『成人期疾患を理解するための DOHaD』</li> </ul> <p>大隅 典子先生（東北大学大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野 教授）</p> <p>2. 地域活動支援 後援</p> <p>各地域女性腎臓病医の会の開催後援（Web 開催が基本となり代表世話人は可能な限り遠隔から参加した）</p> <p>第 4 回九州沖縄女性腎臓病医の会講演会（KSWN） 2022 年 8 月 20 日</p> <p>第 27 回中部女性腎臓病医の会（CSWN）2022 年 8 月 28 日 第 28 回 2023 年 2 月 26 日</p> <p>第 11 回東北女性腎臓病医の会 2022 年 9 月 3 日</p> <p>第 12 回北海道 WINm 学術講演会 2022 年 12 月 1 日</p> <p>第 11 回 関西女性腎臓病医の会（WNFK） 2023 年 3 月 4 日</p>	

第26回 TFD (Tokyo Female Doctor) セミナー 2023年3月7日

第3回四国日本女性腎臓病医の会 2022年3月12日

2) 相互交流・啓発活動:

1. 世話人会の年二回開催 第1回2022年7月1日(金)、第2回同12月3日(土)

3) 研究活動奨励事業: 若手の女性腎臓医の基礎、臨床研究の支援を行い、その発信をもって社会への腎臓病学の啓発に寄与した。

<基礎部門> 中道 蘭 (慶應義塾大学 内科学教室 腎臓内分泌代謝科)

<臨床部門> 古志 衣里 (名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科学)

<症例報告> 林 綾香 (東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)、山田安希 (東近江総合医療センター 内科)

研究成果 (雑誌掲載)

臨床透析 Vol.38 No.10 2022の特集「透析医療の Gender diversity」に JSWN メンバーによる以下の原稿の掲載がされた。

- ・西尾砂織「腎原疾患と透析合併症の性差」
- ・濱田千江子「透析スタッフの Gender Diversity 「透析担当医・専門医」」
- ・武曾恵理『日本女性腎臓病医の会 (JSWN) ー設立 20 周年に向けた展開ー』(コラム)
- ・森石みさき『TSUBASA PROJECT と性差医療』(コラム)

その他の上記の各活動を JSWN の HP に掲載中

<http://www.pcoworks.jp/jswn/>